

## 第3回箕面駅周辺整備方針検討ワークショップ意見概要

### グループ1

- ・ この整備の捉え方としてやはりまずコンセプトが大事
- ・ コンセプトなくして点々の整備のあり方というのはなかなか見えにくい
- ・ 心地よさ、山並み含めた開放感が駅前にあるのが望ましい
- ・ また来たいと思われるような駅前
- ・ まちの顔としてふさわしい駅舎、駅前広場
- ・ ソフトの視点も含めたプランを考えていくべき
- ・ バスの便が少し不便なところがある
- ・ 人の動線の再配置を検討していくべき
- ・ バスのネットワーク等を含めて、他地域他地区の駅とか、他地区の拠点の施設などとの結びつき
- ・ 駅前から見た見通し、景観を確保する
- ・ 本通り入口エントランス部分から駅舎の方を見れば背景に山並みが見える
- ・ 観光情報発信機能を拡充していくべき
- ・ 今の観光案内所をもっと機能的に使っていく
- ・ サインは、似たような機能のものがたまって点で配置されているとあまり意味がない
- ・ 適正なサインを配置
- ・ 回遊性を高めるようなサインも必要
- ・ アーケードも開放感があるもの、材質も含めて
- ・ 駅前としての機能を的確に捉えていった上で整備
- ・ 駅前としては情報拠点としての役割
- ・ 公共の窓口としての機能
- ・ 商店街を含めて物販店舗といった商業機能
- ・ 託児所的な機能もこれからの駅としては必要
- ・ 文化学習機能、交流機能などの機能が駅前に必要

### グループ2

- ・ 今の小広場(ウェンディーズ前スペース)を改札に使えばもっと面白いアイデアが出る
- ・ 駅舎もサンブラの2号館と一体化して2階をつなげる
- ・ 駐車場は、建て替え
- ・ 駐車場の前の水路の蓋、柵などを上手く活用する
- ・ 広く見せる、いい景観づくりをする
- ・ 具体的に何が出来るのか、また予算が具体的にはどれくらいに必要なのか

- ・ 住民が対象なのか、観光客を中心に考えるか
- ・ 噴水を、例えばせせらぎや水路と一体的に見せる
- ・ モニュメントや案内板の意味、価値を具体的に把握し、ある程度撤去する、活用する、再整備で集約するなどを考える
- ・ 案内板はグレードアップする

(キーワード)

- ・ 自然に囲まれた箕面の「滝」
- ・ 箕面に来る来訪者を大切
- ・ 山、紅葉、滝
- ・ 「終着駅」の一種独特の雰囲気
- ・ 「山と緑」
- ・ 「山、空、開放感」
- ・ 「いろは紅葉のシンボルツリー」
- ・ 「アクセスがいい場所」
- ・ 「観光」
- ・ マイナスイオンが感じられるまち
- ・ 「清涼感」
- ・ 「山が一番近い駅」
- ・ 「空気がきれい」
- ・ 自然の優しい色の移り変わりを楽しめる、「季節を感じられるまち」
- ・ 箕面は「自然」
- ・ ソフト的には健康、人情などの田舎的要素
- ・ 「行き詰まりのまち」
- ・ 「緑がきれいなまち」
- ・ 「山と紅葉、滝」
- ・ 「関西の軽井沢」
- ・ 西国街道と東海自然歩道の始点、出発点
- ・ 「時間がゆっくりすっきり流れるまち」
- ・ 「良好な住環境」



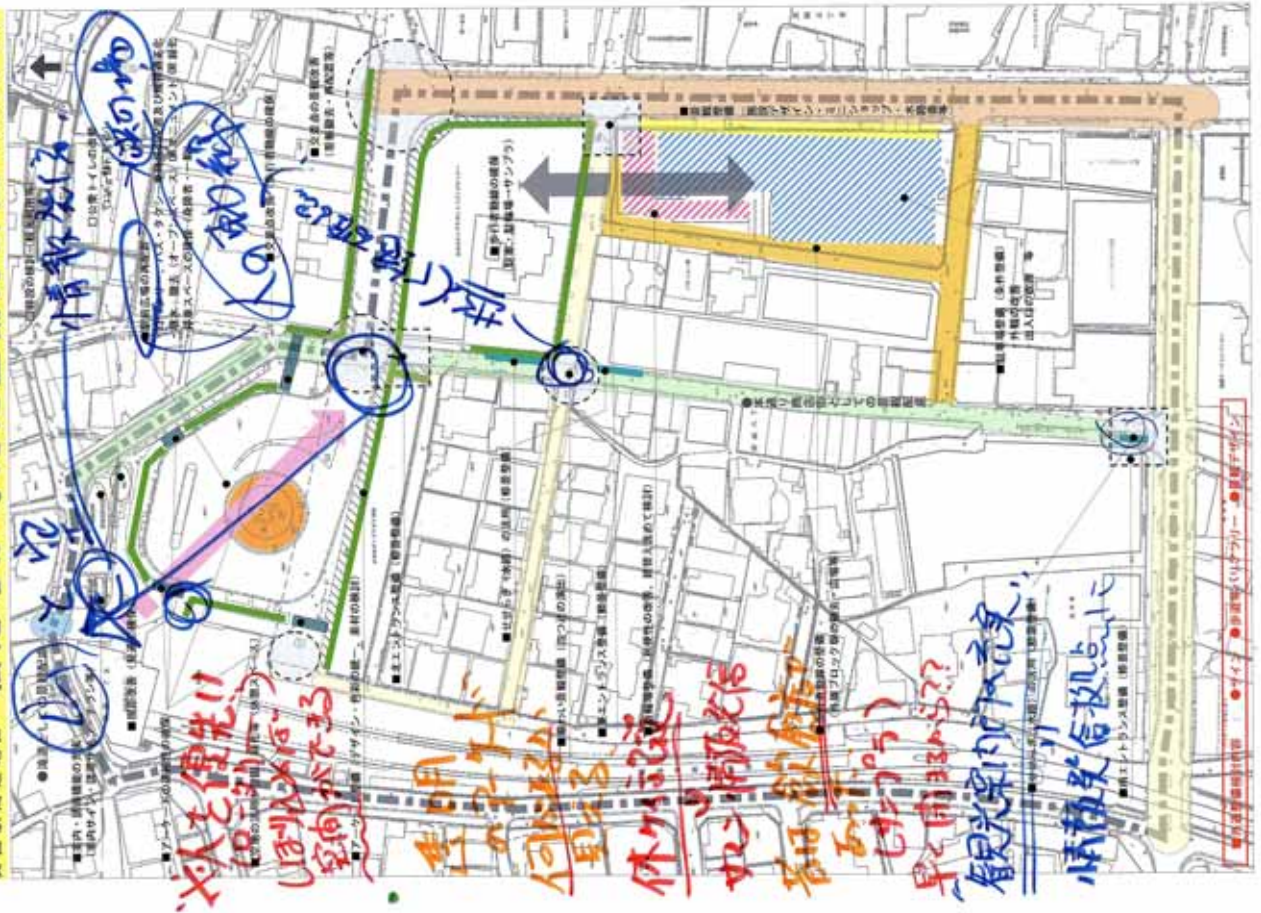
どこのまちにしたいか ⇒ 大事  
 有収 ⇒ 統一性あり (現状)  
 eロ-タリ-全体で見て考え

統合サ-に必要生 (まの口)  
 観光地は町でなく、まち情報発信

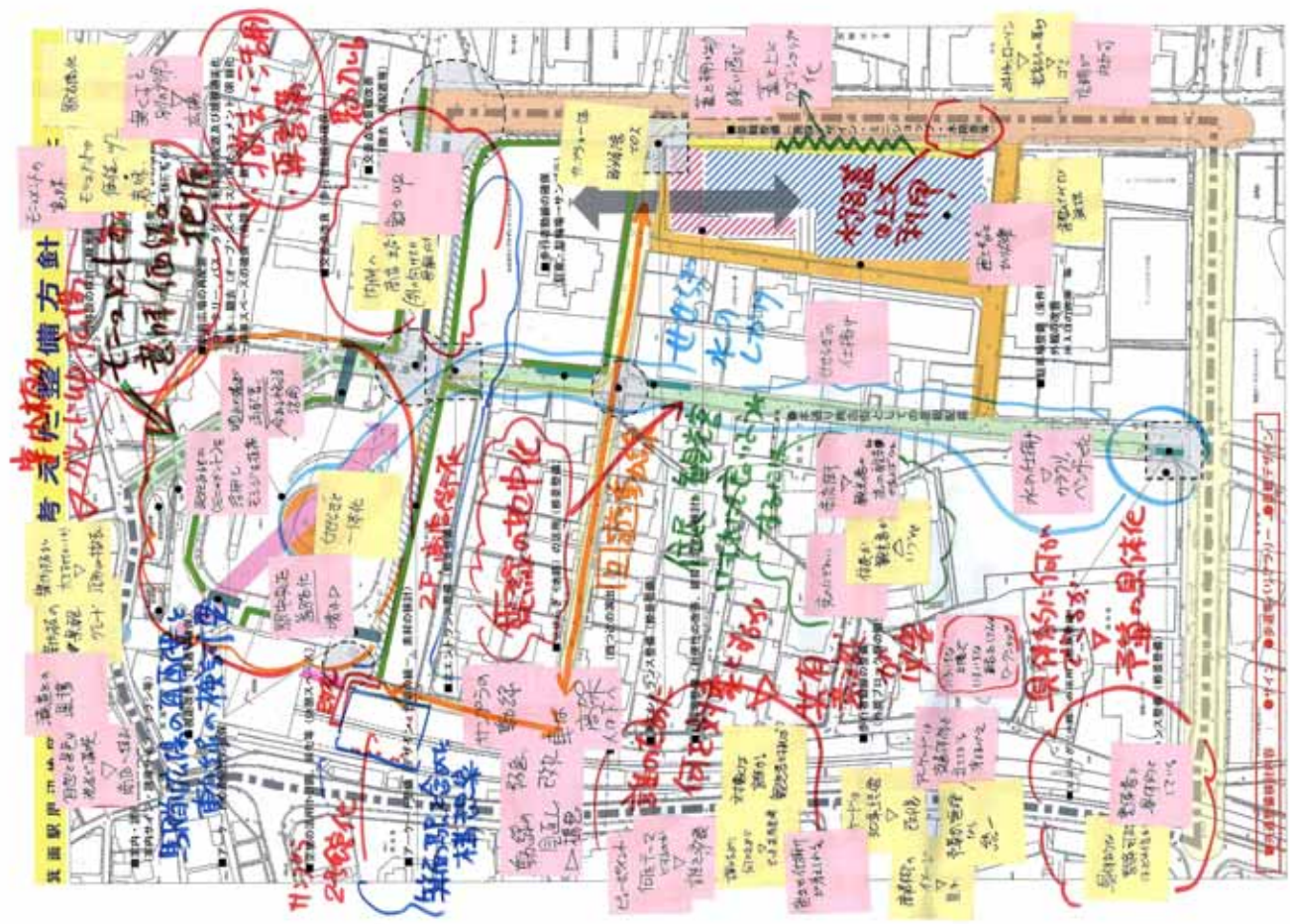
- 6つ機能
- ① 情報発信点
  - ② どこで何をやっているか (公共の窓口機能) (音はあて)
  - ③ 物販 たほり
  - ④ 観光
  - ⑤ 文化交流学習機能
  - ⑥ 交流 (人が集まる) 機能
- ※ 福祉バスが通らぬ (現状)  
 どういう人を呼ぶのか  
 来訪者? 地域住民?

公共窓口 ⇒ 話し合いの場  
 意味は女子か?

其間駅周辺地区 私たちが考えた整備方針図 (たたき台)



エンセツトから人事、開設感  
 箕面来訪者“おん来たん!!!”  
 駅前市民からみかける顔  
 みんなおん来たん馬車とは??  
 “箕面らした”って何?  
 人が集まる⇒集むくがいと  
 商店街の魅力⇒ハードウェア  
 団地(山)千里中央へ。箕面駅  
 を利用して(でいい) {バス  
 交通手段、アクセス、社子クマ  
 ・ソフトがあるのハード  
 (行動計画、何をしたいか?)  
 ⇒ 開放感  
 利用も含めてデザイン



- 和。
- 紅葉、かえる。
- 馬車前になると良い。
- 鎌倉αイナズ(俳諧者)をテーマ表現する。
- 西国街道と東海自然歩道(始点)
- 時間がゆくり流れるまち
- 良好な住環境である。
- 高級住宅地。

◦ 来訪者をどうまちへ誘われるようにするか (滝)

◦ 山・モミジ・緑・終着駅

- サルを山に帰す(遊す)
- 景観(山を自然遊す) いろはモミジ
- 山・空・自然感 (ツツポルツツリー)
- 自然豊か。アクセスが良い。
- 観光
- マイクスオン 清涼感。
- 滝・モミジ・馬車から歩いて行ける
- 山に近い駅 ⇒ 活かす
- 空気がきれい
- 季節に応じた色どり (四季への切り替わり)

自然 (昆虫 <sup>宝庫</sup> 鳥 植物 ⇒ 貴重資源)

自然の水を利用

人情 やさしさ

行きつまずき (高売りにくい)

緑がきれいなまち

山・モミジ 滝 しみじみ

馬に「モミジ」の「水」を利用しよう!

空気がおいしい

川・ため池 都会たか田舎の風景が残る

滝・サルのイメージが定着 ⇒ 活かす

「箕角に来た」を感じる馬

「終点」を多活かす ⇒ ツインフォルに!! 周西の「軽井沢」

和の「輪(わ)」のイメージ